



## 「FIRE」って何？

◆資産ためて早期退職／運用益を生活費に

Q－最近話題になっている「FIRE」だけど、どんな意味があるの。

A－「Financial Independence, Retire Early」の頭文字をつなげた用語で「ファイヤー」と読みます。直訳すると「経済的自立と早期退職」という意味になります。若いうちから貯蓄や資産運用などで十分な生活基盤を築いた上で、仕事や勤め先を早期に辞めること、またはそのような人生観を指す言葉として注目されています。

Q－どうして注目されているの。

A－FIREはもともとアメリカ発祥ですが、最近では日本でも目標にする人が増えていきます。これまでも定年を待たずに早期退職することを「アーリーリタイアメント」といって、普通のサラリーマンの憧れでした。FIREもこれに近い意味で用いられています。

Q－どう違うのかしら。

A－両者の大きな違いは、退職後の生活基盤となる資産の作り方やその使い方にあるといえるでしょう。これまでの早期退職者は退職金や貯蓄を切り崩して生活する形ですが、FIREは若いうちから貯蓄とともに投資にも積極的に励み、その運用益を生活費に回すスタイルを目指します。仕事を辞めた後も資産を減らさず、運用資産を生活基盤として自由で安定した生活を過ごすことを志向する考え方です。

Q－最近になって増えてきたのはどうしてかな。

A－少子高齢化や新型コロナウイルスの流行を背景に、国を挙げて働き方改革が進められています。そうした中、ワークライフバランスを重視した職業観が若い世代を中心に広く浸透してきています。一生を働いて過ごすより、人生の貴重な時間を仕事以外の生きがいや趣味などに使うことに幸福を見出そうとする人が増えるなど、価値観が大きく変化したこともFIREを志向する人が増えた背景にあると思われます。

Q－私もFIREになれるかしら。

A－大ざっぱですが、まずは自身の年間生活費の見込額を想定して、その2.5倍程度の資産を確保することを目指しましょう。これを投資元本として年利4%の運用益で生活費を賄って暮らしていけばFIREを実現できるという計算です。

### 年間生活費が240万円の場合(FIREの例)

#### 1. 年間生活費の25倍の資産をためる

20万円 × 12ヵ月分 × 25倍 = 6000万円

|| ||  
1ヵ月の 毎月  
生活費

#### 2. 6000万円を元手に年4%の利回りを目指す

6000万円 × 4% = 240万円

FIREは「貯蓄から投資へ」と国が旗を振るこの時代に、生まれるべくして生まれたムーブメントと言えるのではないのでしょうか。（北陸経済研究所の丸澤千春が担当しました。）